文京区障害者地域自立支援協議会
令和8年度　第1回障害当事者部会　要点記録

【日　時】 令和8年7月3日(火)10時00分～11時40分
【場　所】 文京シビックセンター3 階　障害者会館 C 会議室
【出席者】　髙山　直樹　　（自立支援協議会　会長）
　　河野　孝志　　（身体障害）
　　永野　栄一郎　（知的障害）
　　中山　雅美　　（精神障害）
　　藤田　孝一　　（精神障害）
　　佐藤　留味江　（身体障害）
　　篠田　亮　　（知的障害）
　　永尾　真一　　（区委員）
【補助人】　関口　梓
　　日柳　莉奈
【事務局】　髙谷、荒木田、枝松、東浦、浅井（文京区障害者基幹相談支援センター）

【開会前に事務局からの連絡】
・出欠確認
・傍聴及び会議内容の公開について確認
・記録のため、会議内容の録音と写真撮影についての確認
・資料の確認

1.　開会挨拶
・障害福祉課　永尾課長　より

2.　事務局紹介、今年度の障害当事者部会の委員体制について（資料第0号）
・委員、事務局員から自己紹介。

3. 議題
（1）部会長の互選（資料第1号）
・自薦、他薦無し。昨年度に引き続き、中山委員が部会長に選任された。

（2）令和7年度全体会参加の振り返り（資料第2号）
・事務局から令和7年度当事者部会での取り組みについて説明。各委員からご意見、ご感想をいただく。
＜委員からの意見、感想＞
〇ワークショップに参加出来たことが良かった。非常用トイレの実演も役に立った。
〇グループホームでは、災害時に在宅避難するというルールがあるが、自分としては避難所に行った方が安心。
〇薬剤師会の方のお話を聞けて良かった。
〇災害時に必要な備えについて、ワークショップで意見交換出来て良かった。
〇視覚障害者は避難所に行くのが至難の業のため、基本は在宅避難となる。そういったことから、改めて備蓄品の確認をした。避難所に行ったとしても、トイレ等の目的地までの動線確保が難しい面もある。
〇文京区の防災フェスタに参加した。色々な業者が出店しており、給水用の袋やホイッスル、備蓄食料をお土産にいただいた。興味がある方は行ってみると面白いと思う。
〇備蓄品のチェックは必要。3日分と聞いたが、念のため1週間分は確保しておくと安心だと思い用意した。非常食は実際に食べてみたいと思った。
〇ワークショップで、睡眠が大事という意見を挙げた。睡眠薬の備蓄も必要と感じたため主治医に相談してみたところ、快く5日分の睡眠薬を処方してもらえた。
〇防災ワークショップは役に立った。簡易トイレの設置は何回も練習してみることで実際の災害時にも役立つと思う。
〇避難所の環境がどんなものか分からないので不安に感じる。
〇皆さんの話を聞いて、心配なことや不安なことをどうやって分かってもらったら良いのかと思った。

（3）令和8年度障害者自立支援協議会について（資料第3号）
・事務局から令和8年度障害者自立支援協議会の体制、スケジュール等説明。

（4）令和8年度当事者部会について（資料第4号）
・令和8年度当事者部会の取り組み内容を検討するにあたり、事前に委員から聴取した意見を説明。
＜委員からの意見＞
①皆さんの意見の中から、今年度まず取り組んでみたいと思うものはどれですか。
〇人権について議論や話し合いが出来ると良いと思う。一般の方との交流もしてみたい。
〇親亡き後について取り上げたい。最も助けになる親の死は、障害当事者にとって災害とも言える出来事だと思うが、精神的苦痛を伴いながらも乗り越えなければならないこと。親亡き後について考える取り組みは、早ければ早いほど良いと思う。
〇昨年実施した防災についての取り組みがとても勉強になったため、今年も取り組みたい。ただし、2年連続で取り組んでいるため、他の皆さんの意見も聞いてみたい。
〇拠点では防災食の試食会をやっていて、参加したことがある。意外と美味しかった。

〇交通に関することを取り組みたい。この4月から自転車のルール違反に罰則が出来たこともあり、転機だと思う。
〇視覚障害者は車以上に自転車の方が怖い。本来自転車は歩道を走ってはいけない決まりになっているが、歩道を走っている方が多くおり、自転車のハンドルが腕や肩にぶつかったことが何度もある。信号待ちの自転車が点字ブロックと重なって止まっており、スタンドが脛にぶつかり怪我をしたこともある。やむを得ず歩道を通るのであれば、歩道のルールを守ってほしい。
〇車椅子ユーザーが歩道を通る際にどのような危険があるのかについても知りたい。目線が低いため、子どものそれと似たような危険があるのではないかと思う。視覚障害者は車と歩道の段差を2センチ設けてほしいとずっとうったえているが、車椅子ユーザーにとっては2センチの段差は大きなものなのではないかと思う。
〇防災について取り組んでみたいと思っていたが、皆さんの意見を聞いて、交通についての取り組みが出来ると良いと思い直した。日頃歩いていて自転車が危険と感じたことがあるため、新しい自転車のルールを知りたい。
〇親亡き後に一人暮らしになった時どうするかをみんなで一緒に考えたい。

②そのテーマについて、部会としてどんなことが出来ると良いと思いますか。
〇当事者の思いを伝える機会を持ちたい。
〇親亡き後をテーマに他部会と交流したら良いのではないか。
〇親亡き後困ることは、その人の状況や障害種別によっても異なる。親亡き後を想像した時に困ると感じることや、親が亡くなる前にこうしておけば良かったという事を意見交換し、当事者部会から発信するのはどうか。
〇防災についての取り組みで、マニュアルの作成や実地体験、非常食の試食等が出来ると良いと思う。
〇交通ルールについて、警察の方に来てもらいお話を伺ったり、意見交換したりするのはどうか。また、意見をまとめて警察の方に要望書としてお渡しすることも出来るのではないか。
〇警察の方から自転車のルールについて聞きたい。
〇交通安全のパレードがやりたい。

③複数のテーマがある場合、どれから始めると良いと思いますか。
〇交通について学んでみたい。
〇交通法の変更点が知りたい。
〇親亡き後のことについて是非一緒に考えたい。
〇どのテーマも大切で優先順位を決めるのが難しい。

⇒結論出ず。いただいた意見をバランス良く組み合わせて実行できるよう、事務局で調整する。

【総括：自立支援協議会　会長】
今日も幅広い意見、貴重な意見が沢山出てよかったと思う。これを材料として、どういう風に調理するかを

考えてもらうことを事務局の宿題として、出来上がったレシピを使ってどういう料理を作っていくかという段階になると思う。今年度は大変面白い当事者部会になると思う。当事者部会から他部会に議題を提言するということになれば、私も副会長もお手伝いできると思う。次の部会は 9 月になるそうだが、それまでの間何をするかということも大切。会わない間に何か簡単なことでも取り組めることがあると良いかと思う。

3 事務連絡

・次回障害当事者部会 日程が決まり次第周知する。